

令和5年度 土浦日本大学中等教育学校自己評価票

<p>本校の目指す学校像</p>	<p>土浦日本大学学園建学の精神に基づき自主自立の気風を養い、中等普通教育及び高等普通教育並びに専門教育を一貫して教育することによって世界の平和と人類の福祉に寄与しうる人材の育成をはかり、社会に貢献することを目的とする。目的実現のため次の目標を掲げるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 豊かな語学力を習得し、世界の人々と対話のできる日本人を目指します</li> <li>(2) 自分たちを育てた文化や社会を理解し日本の素晴らしさを世界に発信します</li> <li>(3) 複雑化した現代社会を生き抜くために、教養を磨きさらに得意分野を生かした高度な専門知識を身につけます</li> <li>(4) 読書、絵画、音楽等を通じて芸術や文化を愛し理解する心を磨き、みずみずしい感性を養います</li> <li>(5) さまざまな危機に直面する地球環境をつねに心の片隅において行動のできる人、地球にやさしい人を目指します</li> </ul>
------------------	--

<p>本校の特長及び課題</p>	<p>多様化する世界において格差を乗り越え、国際社会に貢献できる人材の育成を目指す。そのために、次の3点を重視する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公正な精神のもとで「卓越性」を達成する</li> <li>2. 社会という文脈の中で「読み解く力」を高める</li> <li>3. 「相互依存」の関係を構築して主張する</li> </ol>
------------------	--



評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
学校生活への配慮 (生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な学校生活の実現</li> <li>・生徒心得に則った身だしなみ指導</li> <li>・いじめ予防</li> <li>・顔の見える活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立哨指導，インターネット利用マナー講話，いのちの学習会，弁護士によるいじめ対策授業を実施し，生徒への意識づけを行うことができた。</li> <li>・指導目標・指導内容を明確にした指導計画を作成し，教職員に目標および方針が十分に理解されていた。</li> <li>・生徒会役員，マナーアップ委員の生徒も参加し，マナーアップ週間を実施し，朝玄関で身だしなみのチェックを行った。</li> <li>・継続的な指導が必要となっている生徒がおり，個別に対応を続けていく必要がある。</li> <li>・年に3回，学校生活調査を実施し，その結果を学年や学校全体で共有し，共通した認識を形成した上で，指導を行った。特にいじめ防止対策委員会を開催し，生徒指導部を中心に管理職，学年主任，保健室，カウンセラーら様々な観点から対策に取り組んだ。軽微な事象も「いじめ」と認知し対応した。</li> <li>・家庭・地域との連絡や連携を適切にとることができた。</li> <li>・生徒は生き生きと学校生活を送り，中退者を出さないための工夫が行われた。</li> <li>・落とし物の案内を工夫し，返還率を高めた。</li> </ul>	B
生徒会・部活動 (特別活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活発な委員会活動の実施</li> <li>・生徒主導で実施できる指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの委員会では強化週間や各種行事を中心に積極的な活動を実施することができた。一方で活動に消極的な委員会もあり，今後も取り組みを継続していきたい。</li> <li>・クラブ活動・課外活動が活発に行われた。</li> <li>・合唱コンクールの運営を教員主導から生徒主導へと改めた。</li> <li>・次年度に向けて新しい行事を検討し，生徒が活躍する機会を準備することができた。</li> <li>・学校行事に関して，校風や教育目標を理解し，特色を出すような工夫，改善を図った。</li> </ul>	A

評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日大進学者 40%, 難関大学に 25 名以上進学, 海外大合格</li> <li>・前期課程から学習内容の定着・学習習慣の確立を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型選抜に挑戦する生徒が前年度よりも増加し, 成果を出した。</li> <li>・既卒生も含めて難関大や医学部への合格実績を伸ばした。一方で, 国公立大学や最難関私大への合格者数は伸び悩んだ。</li> <li>・後期課程を中心に保護者対象の進路講演会を実施し, 進路指導について, 家庭との情報共有ができた。</li> <li>・学部学科説明会を大学・学問ディスカバリーフォーラムと改め, 進学中心から職業観も含めた進路全般の学びの場へと昇華させることができた。</li> <li>・スタディサプリを前期課程に導入し, 学習習慣の定着を図った。</li> </ul>	B
保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な健康診断の実施</li> <li>・健康管理への配慮</li> <li>・教育相談の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の健康診断については, 当初の予定通り実施し, 生徒の健康管理に努めることができた。</li> <li>・生徒の健康管理について, 家庭や担任との連携を図ることができた。</li> <li>・校内の情報共有システムを使いながら, 保健室の利用状況をリアルタイムで職員室と共有し, 生徒一人一人に対してきめ細かい対応を行うことができた。</li> <li>・カウンセラーの利用は限られた時間の中でも連携が取れている。今後も利用していない生徒にも利用してもらえるよう周知していきたい。</li> </ul>	A
図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内の充実</li> <li>・図書館活用率の向上</li> <li>・図書委員活動の活発化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会では新規購入図書の紹介を各クラスへ行っている。</li> <li>・進路指導部と連携し, 積極的な自習室の利用を励行している。</li> <li>・受験参考書を中心に, 不明図書の改善が見込めないことが問題となっている。</li> </ul>	A

評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
広報（情報入試）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建学の精神に基づく本校の教育方針に賛同する児童の募集</li> <li>・ 6 ヶ年教育および大学進学を意図する、より質の高い生徒の確保</li> <li>・ 定員 140 名の充足と優秀な入学者の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ明の後、対面と配信のハイブリッド型での入試関連行事を実施した。</li> <li>・ 5年連続で志願者数が1000名(1050名)を超え、定員140名を充足する入学者(148名)を確保することができた。</li> <li>・ 学習塾との連絡を密にとり、教育理念や学校の情報を的確に伝えることができた。</li> <li>・ ICAP, ACE, CSAT, ICL, ISAT, KBT, KBT 特待入試と特性の異なる入試を展開することで、多様な入学者の確保につながった。一方で試験日程・内容の変更が影響し、受験者が減少した入試方式もあり、今後改善の余地がある。</li> </ul>	B
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育方針の浸透</li> <li>・ 校務分掌機能の円滑化</li> <li>・ 企画管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な教員研修や各種会議、朝の打合せ等を実施し、教育方針を各教員に浸透させることができた。</li> <li>・ 自主研修をしやすい勤務体系を確立し、各教員が自己研鑽に努めた。</li> <li>・ 保護者からの出欠連絡をオンライン化し、欠席者情報をいち早く集約し把握に努め、生徒の健康観察と安全管理を徹底した。</li> <li>・ Slack や Google classroom を活用し教育 DX の実現に取り組んだ。</li> </ul>	A
庶務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい時代に即した式典や保護者会活動の体制を確立する。</li> <li>・ 防災意識の向上や校内美化を通じて安全で質の高い学校生活を支える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者対象大学見学会や制服バザーなど、保護者会行事が積極的に行われた。</li> <li>・ 地区会の活動が活発になり、どの地区も交流の機会を持つことができた。</li> <li>・ 入学式や卒業式の式典には、庶務部を中心に全教職員で対応することができた。</li> <li>・ 定期的な避難訓練や、清掃用具の更新に積極的に取り組むことができた。生徒数増を踏まえ、今後の施設利用方法や防災体制は見直しを図っていきたい。</li> </ul>	A

